

# 社会人への階段

今回は、足羽ワークセン

ター第1事業所の事業の一つ

自立訓練(生活訓練)事業に

についてご紹介します。(※)

現在、自立訓練(生活訓練)事業所を利用されている方は10名おられ、そのほとんどが平成22・23年度に養護学校を卒業された方です。

※自立訓練(生活訓練)事業とは社会に出る前の準備期間として身の回りのことから社会で必要なあいさつ・買い物・就労等の訓練を行うことを目的とした事業のことです。

**【普段の活動】**  
プラスチック容器などの100均商材の梱包・ラベル貼りの作業を行っています。

**【週末の活動】**  
創作活動、軽運動、買い物学習・地域交流への参加などを行っています。

## ★スタート

(加藤支援員)

自立訓練(生活訓練)事業所「かがやき」の担当になりました

私は、不安と緊張でいっぱいでした。新しい利用者の方、

もあり「どうしたらよいのか?」と考えることばかりでした。まるで、険しい階段の前に立っているような気持ちでした。

しかし、前向きな気持ちで考えるうちに「こんなことをしてみては?」とアイディアがどんどん湧いてきました。

また、上司・同僚と相談をしてみた。上司・同僚と相談を重ねるうちに、失敗してもみんながフォローしてくれるということが気つき、思いつきやすってみようと思いました。

次に朝礼、掃除、食事準備、ゴミ捨てなどは当番という仕組みを取り入れました。

まずは、最初に取り組んだことは朝礼を行うことです。あいさつすることから1日が始まる事、今日一日自分が何をするのかを理解して行動できるように取り組みました。

## ♡のぼり始めた階段

(横居支援員)



集中して作業、ときには笑顔もあり。



## ◆成長の階段

(柳沢支援員)

半年以上が経ち、利用者の成長が目に見えてきました。半年前は、戸惑いなが



朝礼 全員で園訓唱和

らの作業で、一つのことが終わっても黙つて待つている、わからないことがあつても聞けないというよう非常に受身的な姿勢でした。それが現在では、自分の作業が終わると報告に来てくださるようになり「次は何をしますか」「これはどうしたらいいですか」と積極的に声をかけてくださいます。そして、作業に対する真剣な眼差し、集中力はとても素晴らしいです。



今この気持ちと将来の夢について利用者の方に話を聞きました。

## ☆今、そして将来の夢

ここには友だちがいるので楽しいです。学校の同級生もいますが、ここで友だちになれた人もたくさんいます。作業に集中してしたり、まわりの人たちと話してたりすると一日が早く感じます。ここは作業だけでなく、楽しい時間がいっぱいあるので好きです。

(Aさん 男性)

私の夢は、郵便局で事務の仕事をすることです。郵便局で働く人の姿を見て、いつか私も郵便局で働きたいと思うようになりました。

(Tさん 女性)

ぼくは、料理屋さんで働きたいです。料理を作つてみたいし、板前さんの姿がかつこいいなと思うからです。

(Sさん 男性)

これから、皆さんが出で活躍する姿を思い描きながら、今は将来への可能性がより広がるように支援をしていきます。



自分たちが作業した商品が売られている所を見学してきました。